

読書のまち・かわさき通信 No.64



読書のまち・かわさき

読書のまち・かわさき事業推進委員会 会長
川崎市教育委員会 学校教育部 指導課長

2014. 4. 18発行

**4月23日～5月12日は『こども読書週間』、
4月23日は『子ども読書の日』です**



子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所をとるの願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）に誕生しました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、子どもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である2000年より現在の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日に期間を延長しました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われてきました。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか……。子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えるとき、それが「こどもの読書週間」です。

2014年、今年の「こども読書週間」の標語は、「**いつもいっしょ、本といっしょ。**」です。

昨年度の標語募集で応募総数 2498 点の中から選ばれた小野島健太さんの作品です。

「本を常に持ち歩く。大人になるとそれが当たり前になっていました。苦しい時・辛い時、本を読むとなぜか心が軽くなるということがあります。きっと本には人の心を癒す魔法の力があると信じています。子どもたちにはそんな一冊にめぐりあってほしいと願っています。」・・・という願いがこめられているそうです。

学校教育において読書教育がすすめられています、家庭・地域での読書のすすめも非常に大切なものだと考えます。家庭における読書環境の整備については、次のようなことがあげられます。

- ① 幼児には父母が本を読んで聞かせてあげる。
- ② 短い時間でも本を読むことを勧め、子どもが本を読むのを聞いてあげる。
- ③ 父母自らが読書する姿を、子どもたちに見せる。

ここから本を通した話題が生まれ、親子の対話が生まれます。この読書週間が、子どもたちにとって、たくさんのすばらしい本に出会えるよい機会となることを願っています。

平成26年度「読書のまち・かわさき」主な事業計画

平成16年4月に「読書のまち・かわさき」子ども読書活動推進計画が策定され、川崎の読書活動推進のために継続的な事業を展開してきました。今年度も川崎の子どもたちの読書環境向上に向けて様々な活動を行っていきたいと考えています。

- ★「子ども読書週間」の読書啓発活動
 - ・アゼリア地下通路での図書館マップ、ポスター等の展示

- ★読書活動実践奨励校表彰 6月4日（水）生涯学習プラザ
 - ・川崎北ライオンズクラブの協力を得て実施します。図書館環境の整備や読書活動の推進に意欲的に取り組んでいる学校におくられます。

- ★かわさき読書週間 10月26日（日）～11月8日（土）
 - ・各学校での読書活動の推進
 - ☆ボランティアや図書委員会児童生徒による読み聞かせや全校一斉読書、また読書集会など、学校の特色を生かした取組をします。
 - ☆市内児童生徒を対象に、読書標語やポスターなどを募集します。
 - ・各区公共図書館での読書イベントの開催（読み聞かせ・おはなし会等）
 - ・読書週間ポスター・チラシ配布

- ★かわさき読書の日のつどい 11月2日（日）中原市民館
 - ・読書活動優秀団体表彰
 - ・児童生徒読書活動作品展示
 - ・作家と子どもたちとの交流 などをを行います。

- ★子ども読書カレンダー配布 など
 - ※他にもたくさんの事業を計画しています。

川崎市制90周年記念事業

第10回 かわさき・ゆめ作文コンクール 作品募集のお知らせ



「かわさきゆめ作文コンクール」も、今年で10回を迎えました。小中学生を対象として、川崎市をテーマにした作文を募集しています。募集期間は6月～11月、各小中学校にて作品を受け付けます。今年は市制90周年でもあります。川崎のよさを伝える素敵な作品を楽しみにしております。

川崎で出会ったひと、もの、
ことのよさ、川崎というまち、
地域への希望やゆめを
詩や作文に表現して
応募してみませんか。